

暮らしサポート 成田

通信 第5号 発行 令和5年1月

発行者 暮らしサポート成田
〒286-0033 成田花崎町 736-62
成田市商工会館 1階
電話 0476-20-3399 FAX 0476-23-3300
E-Mail: kurashi-narita@grace.ocn.ne.jp
窓口 月～金 8:30～17:15
休日 土・日・祝日、
年末年始 (12/29～1/3)

皆さん、いかがお過ごしですか。新型コロナウイルス感染症による混乱も3年が経過し、第8波の到来など収束する兆しがみえません。全般的な就労に関する状況についても回復傾向にあるとはいえ、失業や求職の相談は未だに多くあります。生活が苦しい時期、国の特例貸付を利用したけれど、今年1月から始まる返済のめどが立たないという方は、状況により返済猶予なども可能ですのでご相談ください。家計相談も行っています。外出や対面での会合が減り、孤立や疎外感を感じている方もいらっしゃるかもしれません。

生活環境や借金の問題、対人関係の悩みや家族のひきこもり、つらい気持ちなどを一人で抱え込まず、どうぞご相談ください。訪問や同行も致します。“これから”を一緒に考えましょう。



◆場所がわからないときは
お電話でおたずねください。

令和4年11月の相談・支援の状況 ()内は令和3年同月の数字です。

- 電話や来所されて相談のあった方 308名 (217名) 《延べ回数は395件 (379件)》
メール、訪問、関係機関からの相談も含まれます。
- 相談支援として対応した件数 325件 (381件) 電話、自宅訪問、関係機関同行など
- 年齢は10代から80代の方まで様々です。
就労支援は50代～70代前半の方が増加している状況です。

●相談で多い内容

仕事について	20%	収入・生活費について	18%
病気・健康・障がいについて	15%	住居確保給付金関係	17%
収入・生活費について	7%	仕事について	16%
住居確保給付金関係	5%	病気・健康・障がいについて	13%
債務について	5%	住まいについて	5%
住まいについて	4%	貸付について	6%



フードドライブ、フードバンク…食品寄付のお願い

各ご家庭から賞味期限が切れる前の食品の寄付を募っています。

これらは生活に困っている方に無償で配布いたします。成田市社会福祉協議会または暮らしサポート成田までお持ちください。

未開封で常温保存が可能、賞味期限が概ね2か月以上あるものをお願いします。

★活動紹介★

ないたフリーサロン

生きづらさを感じている方や社会に出ることに不安を感じている方等を対象に社会参加や就労に向けた準備の場として開催しています。

日時：毎月第2水曜日 13:30～15:30

会場：もりんぴあこづ (成田市公津の杜4-8)

《参加されている方の声から》

Aさん (30代男性) : テーブルゲームや仕事の関する話など様々な活動があつて楽しい。参加者との交流を通してコミュニケーション力をつけていきたいです。

Bさん (20代女性) : 昨年から定期的に参加しています。毎回参加することで生活リズムを整えていきたいです。

※ 参加者が安心できて、一歩踏み出すことができる居場所づくりを目指しています。参加費無料、予約不要ですので、是非お気軽にご参加ください。



ひきこもり家族交流会

ひきこもりの状態にある方のご家族が日頃の悩みや思いなどを語りあい、情報交換をしています。

日時：偶数月第4月曜日 13:00～15:30

会場：成田市保健福祉館 (成田市赤坂1-3-1)

家族のためのひきこもり学習会

年に一度保健福祉館で講師を招き、講演や意見交換の場を設けてひきこもりについての理解を深めています。12名の参加があった昨年11月22日の学習会第1部では、ご自身が7年間のひきこもりを経験し、現在はカウンセラーやライターとして活躍されている瀧本裕喜氏にお話を伺いました。ひきこもり時代の両親との関係性やこもりながらも自問自答していたこと、両親の変化と夢の中の自分との対話をきっかけに外に出ることができたということです。第2部は、土佐実也恵氏からロールプレイを通して家庭内傾聴のお話をいただき、その後は参加者と活発な意見交換の場となりました。

詳しくは暮らしサポート成田 (0476-20-3399) へお電話ください。

諸般の事情で日程や場所に変更がある場合もございます。

「暮らしサポート成田」は成田市から委託を受け、社会福祉協議会と社会福祉法人大成会の共同事業体として、社会福祉士や精神保健福祉士の国家資格を有する職員が経済的な問題に限らず、生活全般の悩みに応じています。相談者の自立と尊厳の確保を大切にしています。